

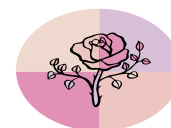
綾瀬インターチェンジ建設推進協議会の今後の活動方針（役員会・総会決定）

平成21年4月23日

- 1 綾瀬インターチェンジの平成22年度事業化に向けて実施される都市計画説明会や事業者説明会等へ積極的に参加し、地域住民の視点で、その効果と影響を十分に見極めて行動していくものとする。
- 2 綾瀬インターチェンジが綾瀬市の将来にとって市民の重要な財産として認識され、一刻も早い整備が望まれるよう、市民の先頭に立ち、幅広い意見集約に努めるものとする。
- 3 綾瀬インターチェンジの設置を起因として、「優しさと誇りが満ち溢れた綾瀬」を目指した活気ある魅力的な「まちづくり」を推進するため、事業主体である神奈川県や地元綾瀬市と密接な連携を図り、官民協働のまちづくりの重要性を認識しながら、次のことについて要望していくものとする。

《 神奈川県 》

- ① 住宅地を含む市街地に設置されるインターチェンジであることを考慮し、環境共生を重視した計画に取り組んでもらう。
 - ・ 環境共生モデル都市圏として、インターチェンジに近接し、まとまりのある一級河川目久尻川沿いの祖師谷緑地の保全を積極的に図る。
 - ・ インターチェンジ及び隣接地において、「緑の核」となるように緑の創出を図る。
- ② インターチェンジ周辺で予想される交通量の増加に伴う諸問題に、地元綾瀬市とともに十分な対策を図ってもらう。
 - ・ 交通量の円滑な流れを確保するために、都市計画道路寺尾上土棚線の北部区間を国道246号線まで事業化する。
 - ・ 発生が懸念される環境問題について、市民が安心できる視点に基づき、騒音や振動、大気汚染などに対し十分な対策を図る。
 - ・ 交通量の増加に伴う安全対策について、地元綾瀬市とともに十分な対策を図る。
- ③ (仮称)「綾瀬ローズインターチェンジ」のコンセプトをもって、市の花であるバラや豊かな緑のイメージを計画に取り込んでもらう。



《 綾瀬市 》

- ① インターチェンジ及び周辺の緑化を推進するため、緑化基金(仮称「綾瀬ローズインター基金」)の募金活動を積極的に展開し、インターチェンジを「緑の核」として、官民協働まちづくりのシンボルとする。
- ② インターチェンジ周辺地区や都市計画道路寺尾上土棚線沿道において、今後新たな大規模な専用倉庫やモーター等の土地利用が進行しないよう、規制・誘導策の展開を早期に実施する。
- ③ 周辺地区の交通量の増加に伴う安全対策について、神奈川県と対策を図るとともに、住宅地区への進入防止対策などを講じる。

【 要望活動・要望書の記録 】

「本活動方針」は、綾瀬市の担当課と神奈川県道路課と調整を重ねた上で作成し、建設推進協議会の決定をもって、綾瀬市、神奈川県、市議会、県議会、地区協議会に対し文書をもって要請した。

- ・H21年8月 綾瀬市長に要望書
- ・H21年8月 綾瀬市議会議長、神奈川県議会議員(綾瀬市選出)に要望書
- ・H22年2月 神奈川県知事に要望書
- ・H23年5月 綾瀬スマートインターチェンジ地区協議会会長に要望書